

ヤマトボシガラ

Festuca japonica Makino

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は疎らで、九州では本県だけに分布している。生育地、個体数はともに極めて僅少。把握されている生育地は、高原の谷沿いの残存林で、森林伐採や植生遷移の進行で、絶滅の危険性が高い。

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地), 九重火山群

分布域 本州 四国 九州(大分)
朝鮮半島 台湾

生育環境 低山地や山地の林縁や林内。

現 状 生育地は、草原内に残された谷沿いの林内で、生育範囲は狭い。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。

備 考 九州では本県だけに分布し、国内分布の南限域となっている。

ヒロハノドジョウツナギ

Glyceria leptolepis Ohwi

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は少なく、多くは農耕地と接するため、採草地や畑地に改変されており、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 津江山地, 九重火山群, 大野川上流域

分布域 北海道 本州 九州(熊本・大分)
朝鮮半島 台湾 中国・中国(東北部) ウスリー

生育環境 丘陵地や低山地の湿地や水溝。

現 状 丘陵地では、採草地や畑地に改変されて消滅した生育地がある。

ハイチゴザサ

Isachne nipponensis Ohwi

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は点在して少ない。植物体は小さく、群生する面積も狭い。水辺や湿地に生えるため、河川改修や流失などにより、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区, 豊後水道後背地域

分布域 本州(関東地方以西) 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
朝鮮半島(南部)

生育環境 低地や丘陵地の溪流辺湿地。

現 状 小形の多年草で、地を這って群生しているが、その生育範囲は狭い。生育環境の変化に影響されやすく、衰退した生育地がある。